

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No.18-004							
PDCA	事務事業名	障がい者医療費助成事業	部課等名	福祉部 国保年金課 医療福祉担当	担当 内線等	鈴木 383	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち					
		節： 第2節 地域福祉の推進					
		基本施策： 3. 障がい児・障がい者福祉					
		単位施策： (1) 生涯を支える仕組みの構築					
	根拠法令等	半田市障がい者医療費の助成に関する条例、半田市精神障がい者医療費の助成に関する条例					
対象・目的	心身障がい者及び精神障がい者に対して医療費（保険診療によるもの）を助成することにより、経済的な負担を軽減し、適切に医療を受ける機会の確保、健康の保持・増進等の福祉の向上を図る。						
目的を達成するための手段・活動内容	心身障がい者及び精神障がい者の医療費の自己負担分について、医療費受給者証の発行または償還払いにより助成する。（補助割合 県：1/2 市：1/2 ただし、障がいの内容によっては県補助なし）						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①障がい者医療費 請求件数	35,172	36,004	35,677	件	
		②精神障がい者医療費 請求件数	18,140	19,202	20,002	件	
		③精神障がい者入院及び通院（精神科以外）医療費請求件数	3,451	4,248	4,505	件	
		事業費	261,137	275,442	279,146	千円	
		人件費	9,627	8,069	8,086	千円	
		総事業費	270,764	283,511	287,232	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
		①障がい者医療受給者一人当たりの医療費（県補助対象）	149,163	155,147	154,726	円	
	②障がい者医療受給者一人当たりの医療費（市単独）	140,449	138,032	113,677	円		
	③精神障がい者医療受給者一人当たりの医療費	43,881	44,770	47,116	円		
	成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		事業の受給資格者が医療費による経済的な負担等の影響を受けることなく、必要とする医療を適切に受けることを目的とした事業であり、平成30年度においては、障がい者医療対象の受給者延べ17,063人、及び精神障がい者医療対象の受給者延べ15,458人に対し医療費助成を行った。	実績値				
			目標値				
			実績値				
目標値							
		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	事業の評価・課題	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
		B					
		障がい者世帯の経済的負担を軽減するとともに、生活の安定と健康保持のため医療費自己負担分の医療費助成を適正に行い、適切に医療を受ける機会を確保した。また、精神障がい者手帳1・2級所持者の精神疾患以外の全疾病に対する助成を平成29年4月診療分から全額に拡大し、精神障がい者世帯の経済的な負担の軽減を図った。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	現状維持					
		精神障がい者手帳1・2級所持者以外でも精神科への入院が必要となるなど状態が悪くなる場合もあり、その場合には本人のみならず、家族にも経済的・精神的負担がかかることとなるため、他市町村の状況も参考にしながら、対象者のさらなる拡大について検討していく。					
	令和元年度の目標	成果指標	目標値		単位		
		医療費助成は、病気やケガで医療機関を受診した際に、受給者の申請（受給者証の提示）に基づき行うものであり、目標値を設定する性質のものではないため、前年度と同様、成果を文章にて表記する。					